

中小企業成長支援ファンド（グローバルアライアンス推進スキーム）
「EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：高田坦史）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、株式会社環境エネルギー投資を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として30億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合』は、エネルギー産業の構造転換に関連して生じる様々なイノベーションや新しいビジネスモデル等を投資対象としており、ESG／SDGsの評価基準を設けることにより、投資先の長期的な成長をサポートするとともに、持続可能な経済・環境・社会の実現に貢献することを目指すファンドです。

本組合には中小機構のほか、独立行政法人日本貿易振興機構（略称：ジェトロ 所在地：東京都港区 理事長：石毛博行）により、外国企業との投資提携を図る『グローバルアライアンス推進スキーム』の認定を受けた外国企業PTT Public Company Limitedが出資します。なお、引き続き出資者の募集を行うことで、総額150億円程度の規模とすることを予定しております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

<グローバルアライアンス推進スキーム>

経済産業省は、外国企業の有する実用化ノウハウ、海外ネットワーク等の優れた経営資源を活用することによって、中堅・中小企業の海外事業展開等を推進するため、ジェトロが窓口となり、外国企業の要望等を中小機構をはじめとする関係機関につなぐ体制を整備し、外国企業との投資提携を支援しています。

外国企業による出資参画・経営関与によって海外販路の拡大やオープンイノベーションの推進が見込まれる案件に対しては、中小機構が出資参画する「中小企業成長支援ファンド」の活用を促進します。同ファンドは、以下のように活用されることが期待されます。

- ① 金融機関等の外国企業と中小機構がファンドに対して共同出資し、同ファンドから中堅・中小企業に対して投資
- ② 事業会社等の外国企業とファンドが中堅・中小企業に対して共同出資

本スキームは、日本の中堅・中小企業の更なる海外展開に貢献するとともに、対日直接投資の拡大を通じた国内雇用の創出、地域経済活性化にも貢献することが期待されます。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：秋吉、豆谷）

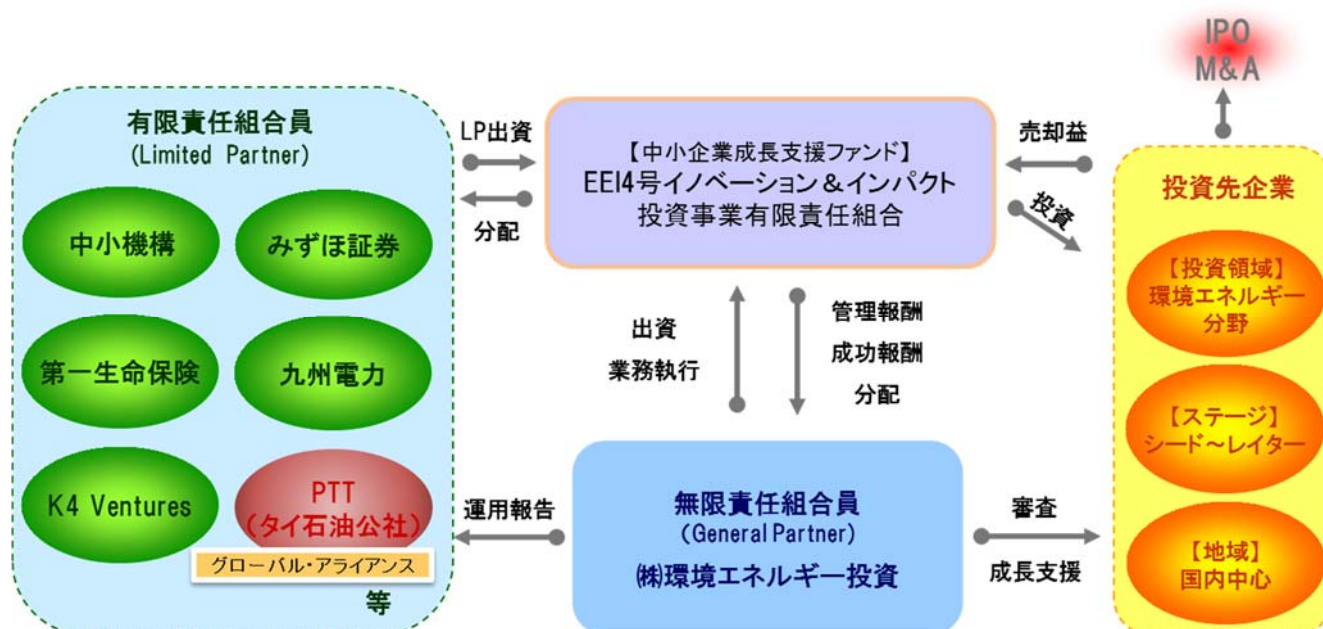
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合」の概要

- 「EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合」は、株式会社環境エネルギー投資を無限責任組合員として、2018年6月に設立された投資ファンドです。
- 株式会社環境エネルギー投資(所在地:東京都品川区 代表取締役社長:河村修一郎氏)は、環境・エネルギー分野に関する、国内外の様々なネットワーク/ユニークな知見を集積している、環境エネルギー分野に特化したベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf